



のざき正志通信

三条市議会議員

皆さまのおかげで、2期目の議員活動を全力で推進しています。市政発展の為、更に精進してまいります。公明チーム3000で「暮らしの安全・安心」「輝く地域社会」「地域主権」の3本柱を推進します。ネットワーク政党として「行動する政策創造集団」で青年力、女性力、地域力を生かします。皆さまの声をカタチに変えるために、しっかり働いてまいります。どうぞ、ご指導、ご鞭撻、ご支援を宜しくお願い致します。



注意喚起の看板が設置されました(塚野目地内)



公明新聞にカーブミラー設置の実績が載りました



歩道が整備されました(本町6土手)



雨水幹線が整備されました(新光町)

6月定例会の一般質問（平成22年6月24日）

6月定例会が6月18日から7月2日の15日間。

問 野崎市議 介護現場の問題について。第5期介護保険制度に向け、在宅介護の支援強化、介護従事者の処遇改善、三条市の状況はどうか。

介護保険を利用しなかった元気な高齢者の負担を軽減するシステムを考えてはどうか。

家族介護者の休息、休日等の拡充はどうか。

答 市長 国の動向を見守っていききたい。現行の枠組みの中でどれだけサービスを充実していけるのか、その部分で国レベルの議論を期待したい。18年度以降、小規模多機能型施設を整備してきた。夜間対応型訪問介護やグループホームの整備もやっている。

サービスの充実は保険料につながっていくので、サービスと負担のバランスについて慎重に見極めていきたい。デイサービスやショートステイを利用してもらうことで、運用を図っている。

第5期計画の中でどうあるべきかを考えていきたい。

問 野崎市議 音声コードの普及と活字文書読み上げ装置の推進については、どうか。

答 福祉保健部長 現在、障害者自立支援法に基づき、日常生活用具給付、広報紙のCD化に取り組んでいる。

県内の設置市では活用事例が少ない。今後技術開発を見極め、意見を聞きながら音声コードの導入については検討していきたい。

問 野崎市議 自殺対策についての三条市の取り組みの状況は、どうか。

答 健康づくり課長 睡眠障害の防止に取り組んでいる。心の健康づくり講演会やパンフレットの配布や予防パンフレットの全戸配布、啓発グッズも作成。更にシンポジウムを開催して、支援者のネットワークづくりに力を入れている。

9月定例会の一般質問（平成22年9月9日）

9月定例会が9月3日から28日の26日間。

問 野崎市議 高齢者支援で所在不明問題と今後の対応は、どうか

答 市長 八月二日時点のデータで、今年度中に百歳以上となる人たちを対象に、医療保険の確認や施設入所の確認をし、50人全員の所在を確認できた。年4回、災害時要援護者名簿の更新をしている。地域見守りなどをフル活用しながら、民生委員、地域包括支援センターなどの協力も得て所在確認に努めていきたい。

関係各課が事務執行にあたり、台帳と異なることが分かった場合、担当に連絡するなど台帳の正確性の確保に努めたい。

問 野崎市議 緊急通報装置の普及啓発と防犯通報システムとしての活用は、どうか

答 福祉保健部長 8月末で460人が利用している。自治会や民生委員から要請があれば説明会を開いていきたい。

見守りが目的のこのシステムを使った防犯通報は、警備業法の運用に抵触するため難しい。

問 野崎市議 高齢者の救急搬送者の割合は。救急医療情報キット配布に対する考えはどうか。

答 消防長 3172名の搬送で、65歳以上は1694名で53.4%を占めた。

病状を説明できない場合、搬送に時間を費やしている状況で、苦慮している。今後、関係者と協議して対応を図っていきたい。

問 野崎市議 今後バス停の設置は何ヶ所になるのか。市民の声をどう生かすのか。

答 市民部長 10月から市街地デマンド交通を全市に拡大し、社会実験に入る。全市で593カ所のバス停を予定している。誰もが利用しやすい本格的な公共交通体系を確立していきたい。



携帯用QRコード

のざき正志後援会

住所： 955-0057 三条市新光町 8-4

TEL/FAX : 0256-35-2341

<http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masaki> (PC用)

<http://www.komeito.com/giin/nozakimasashi06/> (携帯用)

どんな事でも、お気軽にご相談ください。